

平成 29 年度 当初予算主な事業

事業名	田辺公園スケートパーク京田辺市長杯開催事業		
予算額	600	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>平成 29 年に市制 20 周年を迎えるにあたり、記念すべき年として市民と共にお祝いするとともに、これまでの歩みを振り返り、これからのあるべき姿を考え、更なる飛躍に向けて新たな一歩とすることを目的として、記念式典のほか、市民参加の各種イベントや事業を行う。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>田辺公園スケートパーク京田辺市長杯 2020 年東京オリンピックの種目にも採用されたスケートボードを気軽に楽しめる近隣でも数少ない施設である田辺公園スケートパークにおいて、市制 20 周年を記念し、初級者から上級者まで合計 5 クラスの競技大会を開催するもの。 開催日 4 月 30 日 (日) 開催場所 田辺公園スケートパーク 開催経費 600 千円</p>		
担当所属名	建設部建設政策推進室	直通電話番号	64 - 1340

平成 29 年度 当初予算主な事業

事業名	木造住宅耐震化促進事業		
予算額	27,700	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">安全・安心な暮らしの創造の一環として、地震発生の際、倒壊等の危険性の高い木造住宅の耐震性の向上等を図り、地震に強いまちづくりを推進する。</p> <p>○ 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造住宅耐震診断士派遣事業 市から耐震診断士を派遣し耐震診断を実施するとともに、その診断結果に基づく改修のアドバイスや概算工事費の提案を行うもの。自己負担額は3,000円。 <p style="margin-left: 40px;">事業規模 30戸</p> ・ 木造住宅耐震改修等事業費補助事業 木造住宅の耐震改修等に要する費用の額の4分の3を補助するもの。 評点1.0以上（当分の間は0.7以上）への改修（本格改修）は上限100万円、簡易な改修の方法により耐震性を向上させるもの（簡易改修）は上限30万円。 <p style="margin-left: 40px;">事業規模</p> <p style="margin-left: 60px;">本格改修 25戸</p> <p style="margin-left: 60px;">簡易改修 4戸</p> 		
担当所属名	建設部開発指導課	直通電話番号	64 - 1341

平成 29 年度 当初予算主な事業

事業名	木造住宅耐震シェルター設置費補助事業		
予算額	1,050	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>安全・安心な暮らしの創造の一環として、地震発生の際、倒壊等の危険性の高い木造住宅の耐震性の向上等を図り、地震に強いまちづくりを推進する。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>耐震性が低く、耐震改修が困難な木造住宅に対し、安全な空間を確保する目的で、高齢者や障害者等が居住している場合に、耐震シェルター設置する費用の4分の3を補助するもの。 上限は35万円。</p> <p>事業規模 耐震シェルター設置 3戸</p> <p>※耐震シェルターとは 住宅が地震によって倒壊した場合でも、安全な空間を確保することができる堅固な構造物で、住宅の1階（主に寝室となる部屋）に設置するもの。</p>		
担当所属名	建設部開発指導課	直通電話番号	64 - 1341

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	市営住宅長寿命化計画改定事業		
予算額	5,500	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p style="padding-left: 20px;">平成25年3月に策定した「京田辺市営住宅長寿命化計画」の全体計画の改定を行う。</p> <p>○ 事業概要</p> <p style="padding-left: 20px;">安全で快適な住まいを長期間にわたって確保するため、機能回復や予防保全の観点から修繕や改善の計画を定め、長寿命化による更新コストの削減と事業量の把握を目的として、「京田辺市営住宅長寿命化計画」を平成25年3月に策定したが、5年間の前期期間の完了に伴い、これまでの進捗と効果を確認し、全体計画の見直しを行うもの。</p>		
担当所属名	建設部開発指導課	直通電話番号	64 - 1341

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	立地適正化計画策定事業		
予算額	10,000	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>将来の人口減少や少子高齢化の進行、市街地の拡散といった課題に対して、生活利便性の維持向上や地域経済の活性化、行政コストの削減、地球環境への負荷の軽減を図るため、コンパクトシティの実現を目的として策定するもの。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>(1) 策定期間 平成28年度からの継続事業であり、平成28年度に検討した基本的な考え方を踏まえて、京田辺市立地適正化計画の策定に取り組む。</p> <p>(2) 計画の内容（平成29年度）</p> <p>①都市機能を誘導するための事業（都市再生整備計画と同様の内容） ②その他住宅や都市機能の立地の適正化のために必要な事項 ③住民説明会の開催 ④都市計画審議会での意見聴取、関係機関との調整</p> <p>(3) 実施方法（平成29年度）</p> <p>①都市機能や居住を誘導するための実現化方策を検討する。 ②住民説明会を開催し、周知を図る。 ③都市計画審議会での意見聴取、関係機関との調整を図る。</p>		
担当所属名	建設部計画交通課	直通電話番号	63 - 1219

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	バリアフリー化推進事業		
予算額	3,000	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>本市では平成23年度にバリアフリー基本構想（田辺地区）を策定することで各主体の役割や事業化に向けた筋道を明らかにしている。また、市民会議を設置することで基本構想推進のためのスパイラルアップ体制を整えているところである。</p> <p>これからのバリアフリー化の推進では、ハード施策とソフト施策の両軸により、また基本構想を策定している田辺地区に限定することなく、市全域で市民と協働しながら進めていく必要がある。そこで、次年度も市全域を対象としたソフト施策を継続的に実施していくものである。</p> <p>また、公共交通機関の骨格をなす鉄道駅は、重要な社会基盤であり、特に京田辺駅は新田辺駅と合わせて本市の中心拠点駅でもあることから国のバリアフリー化の基本指針に則り、設備整備を行うものである。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>【バリアフリー基本構想推進市民会議事業補助】</p> <p>(1) 実施年度 平成29年度</p> <p>(2) 事業内容 バリアフリー推進事業の中でもソフト施策について、リーフレット作成や講習会の開催により「こころのバリアフリー」啓発活動を市全域を対象に実施していくもの。</p> <p>(3) 予算額（土木一般事務費） 200千円。</p> <p>【鉄道駅バリアフリー化設備整備事業】</p> <p>(1) 実施年度 平成29年度</p> <p>(2) 事業内容 京田辺駅構内におけるバリアフリー化設備整備事業として、誘導警告ブロック及び音声・音響案内装置の設置をおこなうもの。</p> <p>(3) 予算額（公共交通対策費） 2,800千円。 ※総事業費（概算）16,800千円 （事業費負担割合：国1/3、府1/6、市1/6、JR1/3）</p>		
担当所属名	建設部計画交通課	直通電話番号	63 - 1219

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	大住草内線整備効果検討事業		
予算額	5,500	千円	新規・拡充 継続の別
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>都市計画道路大住草内線は、北部の府道八幡木津線や京奈和自動車道「田辺北IC.」と東部の国道307号「山城大橋」を結ぶバイパス道路としての機能を有するとともに、北部の大住地域と本市の中心地である田辺地区を結ぶ道路として期待される道路である。</p> <p>このため、田辺地区の新市街地整備等による都市構造の変化に伴い、将来の道路交通網として都市計画道路大住草内線の位置づけを再検証することが求められる。</p> <p>また、道路交通網に対する位置づけとあわせて、当該道路整備による沿道の土地利用の促進や治水対策等の事業効果を検証し、広く整備効果を検討することを目的とする。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>(1) 策定期間 平成29年度</p> <p>(2) 計画の内容 都市計画道路大住草内線の整備に伴う以下の内容について検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路整備による周辺道路交通への影響検討 ②道路整備による沿道土地利用の促進の検討 ③道路整備による治水対策の検討 ④道路整備によるその他の事業効果の検討 ⑤概算工事費の検討 ⑥定量的・定性的な費用対効果の検討 		
担当所属名	建設部計画交通課	直通電話番号	63 - 1219

平成29年度 当初予算主な事業

事業名	三山木地区区画整理事業		
予算額	120,701	千円	新規・拡充 継続の別
継続			
事業内容	<p>○ 目的</p> <p>J R 三山木駅及び近鉄三山木駅周辺地区の土地区画整理を行い、良好な環境を有する新市街地の形成を図ります。</p> <p>○ 事業概要</p> <p>土地区画整理事業によって、駅前広場、道路、公園等の公共施設を整備するとともに、限度額立体交差事業による鉄道の高架を行い、駅周辺の活性化と宅地利用増進を進めます。</p> <p>関西文化学術研究都市の北の玄関口として、また市南部の核拠点としての機能と景観を備えたまちづくりを推進します。</p>		
担当所属名	建設部 都市整備課 三山木整備室	直通電話番号	65 - 5540